

橘町の見どころ

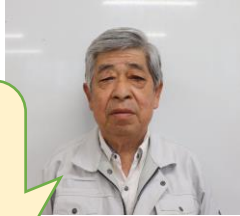
まちの歴史シリーズ ②⑧

橘町HP <https://tachibana-net.jp> **歴史・史跡** クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年10月1日
責任者：國平 安治
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

上野区長 ^{のだ きよし} 野田 清さん



今月は、潮見神社のくんちがあります。くんちについて紹介します。

10月19日がお祭りの日だよ。



●「くんち」は、武雄市史では「地方の秋祭り。もともと旧暦11月ころ行われていた収穫まつりを繰り上げて9月に行うようになったと言われている。神に新穀をお供えする★①日と思われる」と書かれています。また

●「太陽暦になってからは10月に行われ、

- 19日 潮見神社
- 23日 武雄神社
- 24日 黒尾神社
- 29日 黒髪神社



武雄の流鍬馬

には流鍬馬も奉納され、にぎわっていた」と書かれています。

●武雄神社くんちのいわれ★②は市史に書かれています。他の神社のいわれは書かれていません。

●橘くんちがどのように始まったか★③はよく分かっていません

●ウィキペディアでは「九州北部における秋祭りに対する呼称。収穫を感謝して奉納される祭。くんち行事に共通する要素として、神社から御旅所★④まで神輿★⑤による御神幸★⑥が行われる」と説明されています。

●氏子総代会★⑦で事前準備★⑧から当日の行事★⑨まで取り仕切ります。

★印番号の解説

★①神様に新穀をお供えする

なんで新穀をお供えスツと？



新米奉納

日本には今から3千年くらい前に稲作が大陸から伝わってきて、それからずっといね(米)のお陰で暮らせてこれたんだ。だから、ひとつとは古代から稲と自然に感謝して、それを神様への祈りとして、季節ごとにまつりを行ってきたんだよ。

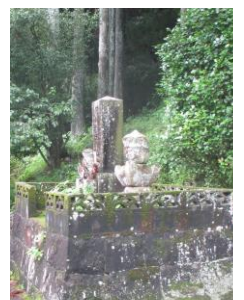
★②武雄くんち

たけおくんちのいわれはどがんと？

市史に「1186年、頼朝が密使を武雄社にやっつて戦勝を祈願させ、そのお陰で平家を滅ぼすことができたので『御教書(幕府からのてがみ手紙)』をいただき、領主後藤宗明が流鍬馬を奉納したのが始まり」と書かれているヨ。頼朝さんは、全国あちこちの神社にお願いしていたんだけどネ。

★③橘くんちのはじまり

始まりは不明だけど、菊池氏第5代経直公が、潮見神社の流鍬馬で落馬したと伝わるのが1186年(菊池市のHPに記載)。わざわざ菊池から潮見まで流鍬馬に来るぐらい、潮見神社の流鍬馬は有名だったようで、橘の方が古いらしいね。(橘町の歴史より)



菊池経直夫妻のお墓

★⑦氏子総代会（解説順変えてます）

私が橋町氏子代表です。
 区長会長の前田と申します。
 ここからは私が説明します



それからしめ飾り用の七・
 五・三の四手を造ります。
 鳥居や各お宮の結界を守る
 ものですので、数多く造り
 ます。A班が当番です。



鳥居のしめ縄

★④御旅所

潮見神社一の鳥居の西に、
 茶畑（今は桜）があって、
 その中に石碑と大杉が一本
 あります。神輿はここを廻っ
 てお帰りになります。



一の鳥居の御旅所

鳥居の飾りは、残りの区
 が当番です。飾り方は
 複雑です。色々な決まり
 があるので、下のような
 「記録を橋町のHPに
 掲げています



鳥居の四手

★⑤神輿と⑥御神幸

潮見神社のご神体が
 神輿に載っておくだり
 になります。潮見神社
 では、神輿が下ってく
 ると、その下を
 潜り抜けると一年安泰
 だと言いつた
 相撲の途中でも多くの
 人がぐぐられます。

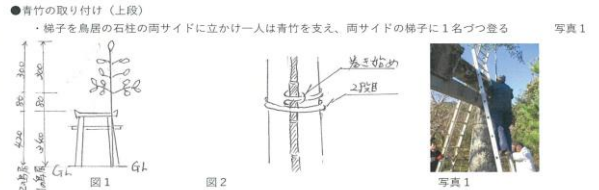


潮見神社のみこし

潮見神社くんち奉納準備説明文

- 鳥居注連縄飾り付け班
- 準備するもの
 - 青竹 長さ7.2m～8m 6本
 - 縄 2巻 宮司方筋の注連縄用 5m 全体で2.20m
 - 細巻 花立の飾り用 少量（上記でも代用できるが縛りにくいため）
 - 御幣 左右各1枚セットを3組 7・5・3のワラ3組
 - 花立飾り用のワラ 2束程度

- 道具
 - 梯子（鳥居まで届く長さの物）2脚、縄を切るはさみ、竹切のこ、メジャー
- 段取り
 - 縄を1.4m、1.1、5m、7、7mの物を各6本作成し、3種各2本を1セットにする
 - 同様に、御幣、7.5.3のワラ、水、花柴を準備、道具を持って1の鳥居へ
- 青竹の長さの調整
 - ・鳥居の高さは約3、4m
 - ・鳥居の天面から更に約80cm上くらいからササを残す
 - ・笹の部分は約3m程度。長すぎると周辺の樹木に邪魔になる。



★⑧事前準備

直前の日曜日、各区から作業人員を出して、
 役割分担に基づき準備をします。作業は多岐
 にわたりますが、大きくは3班に分かれます。
 A：四手造り・しめ縄づくり・取り付け 24名
 B：四手縄・旗・しめ竹取り付け 14名
 C：境内・参道整備 12名 合計 50名

★⑨当日行事

13時から祭典（場所は上宮）
 その後神輿の巡幸開始。上宮か
 ら下って、お旅所で一週してお
 帰りになります。総代会が担当。



その年のワラを前もって準備しま
 す。まずは大しめ縄を造ります。こ
 れは、上・中・下宮に飾るので、
 ワラを束ねて3本の大しめ縄を造る
 のは大仕事です。上野・南片白・
 南北檜崎・小野原・沖永が当番



上宮のしめ縄

9時から土俵祭り・奉納相撲
 ・小学校の部
 ・地区対抗の部
 ・健勝祈願 準備を含め
 て相撲協会を中心に実施。

昔は前夜祭もあって映画上映や青年団
 の出し物などを見に行ったものです。

今回ご紹介したのは『潮見神社くんち』でした